

2022 年、沖縄の血液検査__米国アカデミー指針（6 種類の PFAS 合計）に照らして

- 沖縄全体 6 市町村の検査数 387 人のうち 215 人(56%)が、20ng/mL を上回る。
- 北谷浄水場からの給水地域は 224 人、そのうち 138 人(62%)が上回る。
- 宜野湾市喜友名は 50 人中 32 人(64%)、北谷町は 59 人中 49 人（83%）。
- 水源の異なる金武町でも 54 人中 36 人（67%）、嘉手納は 51 人中 24 人（47%）。
- 基地の影響を受けない独自水源の大宜味村でも、58 人のうち 17 人（29%）。

PFAS 問題を全国へ、国連へ！

2022 年 6-7 月 血液検査（6 市町村で採決）

同 8 月 普天間第 2 小グラウンドの土壌調査

同 10 月 検査結果を記者会見で公表

同 11 月 院内集会&政府ヒアリング（参議院会館）

外国特派員協会で「命の水」上映&血液検査報告

2023 年 1 月 沖縄 PFAS を国連へ訴え（文書レポート送付）

同 3 月 先住民族の権利に関する専門家機構・アジア連合の事前学習会：タイ

同 5 月 国連派遣に向けた各領域からの報告会（パンフ「チャーすが PFAS」）

7/17~21 先住民族の権利に関する専門家機構__ジュネーブに宜野湾ちゅら水会
全体会で沖縄報告と、サイドイベントで資料提供、ビデオ上映など
国連に対して沖縄への調査派遣及び日米政府に対する是正勧告の要請
日本政府代表の反論に対して、沖縄から再反論し、調査実施を求める訴え

今後の課題について

9 月 16 日 ジョンミッチェル&島袋夏子__「命の水」米国上映、PFAS 国際状況報告会

9 月 17 日 VFP の訪日団と合同フォーラム、前後にフィールドワーク&サンプル採取

10 月、ハワイのレッドヒル燃料漏出、PFAS 汚染に取り組む市民団体の来沖受け入れ

EPA の新規制の動向に注目しながら、PFAS を国民的課題として、政府や国会要請行動へ

汚染源特定のための基地立入調査、下水道浄化センター汚泥・バイオソリッド追跡

PFAS フリーの生活環境を次世代に引き渡すための取組、ネ

医療関係との問題意識共有__保健所等の公的な健康調査へ（沖縄県保険医協会など）

住民と議会、行政がどのように連携できるか？ ネット署名、学習・啓発など

沖縄の戦後史は島ぐるみ土地闘争__個人所有地ゆえに地主間の分断・亀裂を招いた

しかし、土地の下に広がる帯水層は、誰の所有物でもないワッター島全体の共有財産。

それゆえ土地闘争以上に命の水を守る取組みは生存権をめぐる島ぐるみの問題！